活動名：民報杯ビアンコーネカップ　Ｕ－１０
日程：平成２９年１０月８日（土）～９日（日）
会場：福島空港公園　緑のスポーツ広場
参加：Ｅ４クラス　９名
帯同：渡邉コーチ、貝和コーチ
報告：渡邉
対戦相手：
予選リーグ（３位：１勝２敗）
　VS 会津サントス　　０：１　●
　VS 籠原ＳＳＳ　　０：２　●
　VS ラセルバロイＦＣ　　７：３　○
　　（得点：陽介２点、智仁２点、悠斗２点、隼人）
３位リーグ（２位：１勝１敗）
　VS 富田ＳＳＳ　　１：２　●（得点：隼人）
　VS あだちＪＦＣ　　３：０　○（得点：陽介、尚衣、暁月）
１５位決定戦
　VS 守山ＳＳＳ　　０：１　●（得点：隼人）
結果：１６位（２４チーム中）

　Ｕ１０チームＷａｔａｎａｂｅ監督の渡邉です。民報杯ビアンコーネカップＵ－１０に帯同しましたので報告します。
　今大会も予選リーグを全勝で突破し完全優勝を計画していましたが、結果は１６位と不本意な結果となってしまいましたが、参加した選手たちは、１００％の力を出し切った大会だったと思います。特に、勝ったときの笑顔と負けたときの悔しそうな表情は印象的でした。
　今回のチームテーマは「シュートを打て！」です。なぜ、このテーマなのか？その理由は２つあります。①点を奪うため、②視野を広くするためです。①については、サッカーは点を奪うスポーツですからゴールするためにはシュートしなくてはなりません。点を奪うために逆算する必要があります。そのためには「見る」⇒「判断」⇒「実行」をスムーズに、かつスピーディーに行う必要があります。次に②です。これは、ヘッドアップ。一番遠くの場所（ゴール）を見るためには自然と顔が上がります。すると、遠くの場所以外にも近くの場所が自然と視界に入ってきます。この情報量の多さが適切な「判断」をくだし、次のプレーの成功率が高くなります。今大会で選手たちに学んで欲しかったことは、「見る」⇒「判断」⇒「実行」です。このことを簡単に表現したのが「シュートを打て！」でした。このことを踏まえ、今大会を振り返ってみます。

予選リーグ

（１）会津サントス戦及び籠原ＳＳＳ戦

この２戦は、１対１での守備が非常に良かったです。自分の体を相手とボールの間にねじ込んでボールを奪うことが出来ていました。課題は、ボール奪ってからの攻撃。多くの選手がボールを持つと目線が下がっているため効果的な攻撃が出来ていませんでした。原因として考えられることは、ハイプレッシャーの中でも発揮できるスキルがまだ不足しているということでしょう。攻撃面では「見る」情報量が少ないためシュートチャンスを逃してしまうほか、守備面でも「見る」情報量が少ないためフリーでシュート打たせてしまう場面が散見された。

（２）ラセルバロイＦＣ戦

攻撃面では、相手のプレスが緩かったため、本来のスキルを発揮した試合でしたが、守備面では「見る」情報が少なく、「判断」ミスもあり簡単に相手選手に突破させてしまうなど、残念なプレーがありました。

順位リーグ及び順位決定戦

（１）富田ＳＳＳ戦及びあだちＪＦＣ戦

攻撃及び守備において、「見る」情報量が多かったため、最良な「判断」をくだし、「実行」していました。特に実行面でも技術ミス（パスミス・トラップミスなど）が少なかった試合でした。

（２）守山ＳＳＳ戦

今大会の最終戦でした。攻撃及び守備の両方で見応えのある戦いでした。このような真剣勝負をできたことは次に繋がると思います。

今後の目標

一番良い事は、フリーでボールを受けることですが、たとえハイプレッシャーを受けたとしても持てる力を１００％出せる選手を目指そう。

私がこのＥ４クラスの帯同をして感じたことは、“原石”。どの選手も磨けば輝く可能性を見せてくれた６試合でした。６年生までにどこまで伸びるのか本当に楽しみです。特に県内外の強豪チームとの真剣勝負は、選手たちにとっても良い経験になったと思います。選手たちには、この経験をただ単に大会に参加して試合をやったという経験だけで終わらせて欲しくないです。

最後に、ビアンコーネ福島さん、ご招待いただきありがとうございました。次回も引き続き、よろしくお願いします。また、Ｅ４クラスのご父兄の皆様、二日間、選手たちへの熱い応援ありがとうございました！引き続き応援をよろしくお願いします。

コーチ　渡辺

10